

日本産業衛生学会 産業保健看護専門家制度

2022年度 産業保健看護専門家制度登録者 認定試験要領

1. 目的 「日本産業衛生学会 産業保健看護専門家制度に係る規程」 第8条に基づき、産業保健看護専門家制度登録者（保健師）認定試験及び産業保健看護専門家制度登録者（看護師）認定試験を行います。
2. 試験日時 2022年6月26日（日） 13時30分～15時10分（受付12時45分～）
3. 試験会場 東京会場：TKP ガーデンシティ PREMIUM 秋葉原
大阪会場：TKP ガーデンシティ PREMIUM 大阪駅前
岡山会場：TKP ガーデンシティ岡山
福岡会場：TKP 博多駅筑紫口ビジネスセンター
※ 上記4か所で実施を予定しております。様式第12号-1の「受験会場希望」欄に、受験地について第1希望から第3希望まで記載してください。ただし、人数により希望に添えない場合があります。
※ 今後の新型コロナウイルス感染拡大の状況により中止となる場合があります、その場合はホームページ等でお知らせいたします。
4. 受験料 11,000円（税込み）
5. Web申し込み期間：2022年4月14日（木）～5月13日（金）
6. 試験に関する事項 所要時間：100分
出題形式：4肢及び5肢から1あるいは2の正解を選択するマークシート式の問題
問題数：100問
なお、試験問題は回収します。
7. 出題基準：別表のとおり
8. 標準参考書：①中央労働災害防止協会（編集）労働衛生のしおり（最新版）
②厚生統計協会 国民衛生の動向（最新版）
また、保健師・看護師としての活動については、標準参考書以外からも出題されることがあります。
9. 結果の通知：受験者には7月下旬に結果を郵送します。
10. 受験申し込みの流れ
Web申し込みページ（<https://forms.gle/d5VRHK9chBV1G7fm8>）から受験申請をした後、以下の書類を5月13日（金）までに事務局までご送付ください（当日消印有効）。必要様式は産業保健看護専門家制度委員会ホームページ（<https://www.sanei.or.jp/hokenkango/>）の「受験・受審される方 登録者認定試験」の「登録者認定試験の受験をされる方へ」よりダウンロードしてください。
 - 1) 産業保健看護専門家制度登録者認定試験 受験資格審査・受験申請書（様式第12号-1）
 - 2) 履歴書（様式第9号）

- 3) 保健師免許証（写）もしくは看護師免許証（写）
- 4) 第一種衛生管理者免許証（写）（保健師免許を有しないものに限り）
- 5) 受験料 11,000 円（税込み） 銀行振り込み票（写）を様式第 12 号-1 裏面に貼付します。

振込先：三菱UFJ銀行新宿西支店（店舗番号 055）

口座種別：普通口座名：産業保健看護専門家制度委員会事務局

口座番号：0574204

11. 必要書類送付先・問い合わせ先

〒331-0815 埼玉県さいたま市北区大成町 4-523-3

佐藤企画内 産業保健看護専門家制度委員会事務局（担当：佐藤貴志）

TEL：048-706-7196 FAX：048-671-1796 E-mail：senmonkaseido@ab.auone-net.jp

12. 受験案内・受験票の送付

5 月下旬にメールもしくは郵送します。

※事務局からのアドレスを受信できるよう設定と確認をお願いします。

13. 別表（出題基準）

出題領域	出題のポイント	出題割合
公衆衛生看護学概論	公衆衛生看護の理念や活動の基礎となる理論、人の健康に影響する環境について問う	10%程度
公衆衛生看護学方法論（対象の把握とそれに適した方法の理解）	公衆衛生看護を展開する方法のうち、対象の理解、保健指導、健康相談、健康教育、家庭訪問、ケアマネジメント、健康診断などについて問う	
公衆衛生看護学方法論（組織・集団・地域の理解と計画の立案、実施、評価のプロセス）	地域診断の概念・過程、計画・実践・評価、施策化のプロセスや組織・集団への支援方法について問う	
対象別公衆衛生看護活動論	母子保健活動、成人保健活動、高齢者保健活動、精神保健活動、障害児（者）保健活動、難病・感染症への保健活動、歯科保健活動に関する基本的な理解を問う	10%程度
産業保健（産業看護展開論も含む）	産業保健・産業看護の理念と目的、制度とシステム、健康課題及び展開方法について問う	30%程度
学校保健	学校保健の理念と目的、制度とシステム、健康課題及び展開方法について基本的な理解を問う	5%程度
健康危機管理	健康危機管理の理念と目的、制度とシステム、健康課題及び展開方法について基本的な理解を問う	
公衆衛生看護管理論	公衆衛生看護管理の構成要素、専門的自立と人材育成について基本的な理解を問う	
疫学	公衆衛生看護の基盤となる疫学の基礎について基本的な理解を問う	30%程度
保健統計	公衆衛生看護の基盤となる統計学の基礎、情報処理技術、統計情報とその活用について基本的な理解を問う	
保健医療福祉行政論	保健医療福祉行政・財政の理念と仕組み、地域の健康課題の解決に必要な社会資源の開発、保健医療福祉サービスの評価及び調整方法について基本的な理解を問う	15%程度